

2013 年度 第 3 回 農村計画本委員会 議事録

開催日：2013 年 10 月 17 日（木）10:00～12:00

場 所：建築会館 304 会議室

出席者：委員長：岡田知子 (敬称略)

幹 事：神吉紀世子 (Skype 参加)、栗原伸治 (文責)

委 員：岩田俊二、後藤隆太郎、齋尾直子、山崎義人 (Skype 参加)、柳田良造

I. 確認事項

1. 前回本委員会 (8 月 31 日) 議事録 (案) の確認
 - ・ 前回議事録 (案) を確認した。

II. 報告事項

1. 2008～2013 年度大会研究集会参加者数
 - ・ 農村計画分野は、参加者 50 名以下 (赤の箇所) が多い。
 - ・ 研究集会の数を減らすなどして (直接要請があったわけではないが)、参加者 100 名ぐらいの企画をつくってほしい。

III. 審議事項

1. 2013 年度大会学術講演会若手優秀発表について
 - ・ 以下の 3 題を顕彰することに決定した。
 - 講演番号：6041
合木純治
「復興まちづくり計画の作成プロセスと成果
－大船渡市三陸町綾里地区の復興まちづくり研究 その 1－」
 - 講演番号：6054
野田 満
「農山漁村地域における外部人材の活用実態と意向に関する基礎的研究
－「緑のふるさと協力隊」事業受入自治体を対象に－」
 - 講演番号：6077
青木秀史
「荒川流域における洪水に対する伝統的方策とその変容に関する調査研究
－洪水常襲地帯における洪水に対する伝統的方策に関する調査研究その 2－」
 - ・ 賞の正式な名称については、学術推進委員会で決めてもらう。
 - ・ 正式な名称が決定したら、農村計画委員会 HP に掲載する。

2. 2014 年度大会関係

(1) 研究集会

○ 研究懇談会

- ・ 集落居住小委員会が中心になって、
「むらを住み継ぐ、これからのカタチー空き家利用の観点からー」
というテーマで研究協議会を開催予定。
- ・ 登壇者もふくめてプログラム案も作成済。
- ・ 空き家利用・再生に対する新たな観点がタイトル等に入ってほしい。
→サブタイトルを再考する。

○ 他の研究集会

- ・ 神吉先生が中心になって企画をたてる（企画書提出メ切：11月18日）。

(2) オーガナイズドセッション

- ・ 震災関連のテーマで OS を実施する。
- ・ 主旨とタイトルは、後藤先生が提出する。

3. 『東日本大震災合同調査報告書』進捗状況について

- ・ 10月20日（日）原稿提出メ切。その後、査読あり（論文査読とはちがう基準で）。
- ・ 原稿がそろってから幹事会（メンバー：後藤先生、重村先生、三橋先生、岡田先生）を開催し、目次・構成について再考する。

4. 農村計画委員会の改組について

(1) 小委員会／ワーキンググループ廃止申請（6/2 件）

- ・ 6小委員会、2ワーキンググループの廃止申請が承認された。

(2) 2014 年度委員会構成について

- ・ 10月25日までに、小委員会設置申請書、活動計画・予算原案を提出する。
- ・ 小委員会名称、主査等については、以下のようにする。

集落復興再生小委員会（主査：後藤先生）

名称：「集落復興小委員会」に変更。

主査：交代はなし（2年後に、主査の交代をめざす）。

書類：後藤先生が作成。

農山村地域組織形成小委員会（主査：斎尾先生）

名称：「農山漁村地域組織小委員会」に変更。

主査：熊野先生に交代。

書類：斎尾先生と熊野先生が作成。

農山漁村文化景観小委員会（主査：神吉先生）

名称：国際的に展開したい。それにあわせて名称を変える可能性あり。

主査：交代はなし（2年後に、主査の交代をめざす）。

書類：神吉先生が作成。

農村環境共生小委員会（主査：篠崎先生）

岡田先生から藤沢先生に打診して依頼。

集落居住小委員会（主査：山崎(義)先生）

名称：変更なし。

主査：交代なし。

書類：山崎先生が作成。

国土計画小委員会（主査：岩田先生）

名称：「農村・国土計画小委員会」に名称変更。

主査：斎藤先生に交代。

書類：柳田先生が作成。

- ・ アジア農村フォーラム WG、ルーラルネット WG については、委員長選挙の結果がでてから再考する。

5. その他

○日韓交流

- ・ 2月21～23日を候補日として、農村の現代的課題をテーマに、韓国側と連絡しつつ企画をすすめる。

以上